

荒川の上流

早川 秀一

ぼくは、荒川の上流の長瀬ながせという所ところにいきました。

長瀬では、ラインくだりがあつたので最初にのりました。木の船で荒川をくだつていると中、長瀬という名前のゆりいについておしえてくれました。まず、長瀬の瀬とは、流れがとちもゆるく、波がないところのことです。荒川の上流は、それが長いから、その場所は

長瀬とよばれるようになったそうです。そのいっぽう、大きな岩などでは、いきおいのつよい場所もありました。でもそこでは、船をこいでいる人は何もしてないのか、てい岩をよけながうすすんでいききました。ぼくはそのとき、すごくうまく、流れをつかんでるなと思つたのと同じに、瀬のような場所をよく下にある大きい岩をよけるなとも、思いました。そうすると、妹が、つまるで船が、いしをもつてるみたい。い。と言いました。



ぼくは、たしかに、きょうかんしました。
 とうい、いに、すびにと、ろに、きずく、な、思
 い、ました。そして、そんなのも、川の、とく、せ
 い、なの、かな、と、考、えて、い、な、う、す、ぐ、あ、お、こ、し
 ま、い、ま、し、た。

その、あ、とは、つ、い、た、と、こ、ろ、び、水、き、り、を、し、て
 あ、そ、ん、だ、り、そ、こ、で、大、き、め、な、小、ち、ぢ、い
 足、の、は、え、た、お、た、ま、じ、く、し、を、つ、か、ま、え、て、み
 たり、小、ち、ぢ、い、え、び、を、つ、か、ま、え、て、す、ぐ、に
 げ、ら、れ、て、た、り、し、た、ら、雨、が、ふ、こ、き、て、し、ま、う

た、の、ひ、さ、い、で、は、そ、ば、を、た、べ、て、帰、え、り、ま、し
 た。

と、こ、も、楽、し、く、い、ろ、ん、な、こ、と、を、学、ぶ、こ、と
 も、で、き、て、よ、か、た、で、す。先、生、も、お、ひ、ち、ち
 ぶ、の、長、瀬、に、い、つ、こ、み、て、く、た、さ、い。

